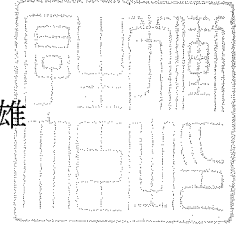


厚生労働省発食安1205第4号
平成24年12月5日

食品安全委員会
委員長 熊谷 進 殿

厚生労働大臣 三井 辨雄



食品健康影響評価について

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第14号、食品安全委員会令（平成15年政令第273号）第1条第1項及び食品安全委員会令第1条第1項の内閣府令で定めるときを定める内閣府令（平成15年内閣府令第66号）第1号の規定に基づき、下記事項に係る食品安全基本法第11条第1項に規定する食品健康影響評価について、貴委員会の意見を求めます。

記

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づく「食品、添加物等の規格基準」（昭和34年厚生省告示第370号）の規定に基づき定められた「組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続」（平成12年厚生省告示第233号）第3条の規定に基づき、次に掲げる食品の安全性審査を行うこと。

チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MIR162 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種

既に安全性審査を経た旨の公表を行った次の品種は除く

- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MIR162 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種



チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MIR162 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性審査を経た旨の公表を行った品種*を除く。）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えトウモロコシ「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MIR162 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性審査を経た旨の公表を行った品種*を除く。）」については平成 24 年 11 月 29 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本品種は別紙の表の遺伝子組換えトウモロコシを伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

3. 利用目的及び利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来の特モロコシと相違はない。

* 既に安全性審査を経た旨の公表を行った品種

- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MIR162 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ 1507 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種
- ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統を掛け合わせた品種

| 概要 | | | |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 項目 | | | |
| 品種 | チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統 | チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810系統 | チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統 |
| 製品の概要 | <p>改変 <i>cryIF</i> 遺伝子の導入によって改変 <i>CryIF</i> タンパク質が発現し、チョウ目害虫 (ヨローロッパアワノメイガ等) 抵抗性を示す。また、<i>pat</i> 遺伝子の導入によって PAT タンパク質が発現し、除草剤グルホシネート耐性を示す。</p> | <p><i>cry1Ab</i> 遺伝子の導入によって <i>Cry1Ab</i> タンパク質が発現し、チョウ目害虫 (ヨローロッパアワノメイガ等) 抵抗性を示す。</p> | <p>改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子の導入によって改変 CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性を示す。</p> |
| 宿主 | ゼント種のトウモロコシ (<i>Zea mays</i> L.) | | |
| 挿入遺伝子 (供与体) | <p>改変 <i>cryIF</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> var. <i>aizawai</i> 由来)</p> <p><i>pat</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces viridochromogenes</i> 由来)</p> | <p><i>cry1Ab</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来)</p> | <p>改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> CP4 株由来)</p> |
| 選抜マーカー (供与体) | 使用していない | 使用していない | 使用していない |
| 新たに獲得された性質 | チョウ目害虫抵抗性除草剤グルホシネート耐性 | チョウ目害虫抵抗性 | 除草剤グリホサート耐性 |
| 安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日) | 2002年7月8日 | 2001年3月30日 | 2001年3月30日 |
| | | 2010年1月21日 | |